

尻無川水門は、大阪ドームの南側から大正区に流れる尻無川にあるアーチ型水門です。台風などで押し寄せてくる大阪湾からの高潮をせき止めるはたらきをもっています。



概要（西大阪治水事務所ホームページから）		
所在地	大阪市大正区泉尾 7 丁目 5-30	
	主水門 アーチ型ゲート	副水門 スイングゲート
径間 有効幅員	57m 55.4m	15m
敷居高さ 閉鎖時の天端高さ	OP-4.5m OP+7.4m	OP-4.0m
扉体の大きさ	幅 66.7m×高さ 11.9m	幅 17.1m×高さ 11.55m
扉体重量	530 トン	107 トン
操作時間 扉体を閉める所要時間	50 分 30 分	10 分
動力	電動機 60kw×2 基 ワイヤー巻取式	電動機 22kw×2 基 油圧式
発電機	ガスタービン式 600 馬力	
完成年月日	昭和 45 年 11 月	

（尻無川水門工事殉職）

1969 年（昭和 44）11 月 25 日午後 7 時 40 分、尻無川大水門の建設工事において中央ケーソンのロックシャフト連結部の取付ボルトが破断し、その結果ケーソンが 1.8 メートルも急激に沈降してその中で掘削作業中の 11 名の方々の尊い生命が奪われました。現在も、毎年追悼式が開かれています。

